

活動成果報告書

令和5年度（第27回）「チヨダ地域保健推進賞」

| | |
|--|--|
| 活動テーマ 竜ヶ崎保健所管内健康危機管理のためのネットワーク作り | |
| グループ名称・氏名(グループの場合は代表者名) 茨城県竜ヶ崎保健所 保健指導課 代表者：須藤 芳文 |  |
| 勤務先：茨城県竜ヶ崎保健所 所 属：保健指導課 所在地：〒301-0822 茨城県龍ヶ崎市2983-1 TEL：0297-62-2367 FAX：0297-64-2693 | |

◇活動方針

保健所では「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」等関係法令に基づき、患者発生時の疫学調査や接触者調査の防疫活動を行うとともに、健康診断勧告及び入院勧告を行い、予防対策の強化を図っている。新型コロナウイルス感染症については、従来の行政検査や感染症発生時の対応に加え、クラスター対応、行政検査、患者搬送などを行い、まん延防止に努めた。

9市町村を管轄する当所では、令和4年度の新型コロナウイルス感染症の届け出数は43,709件に上り、5類感染症に移行する以前の第6派から第8波にかけては、爆発的な感染拡大に伴う医療のひっ迫・入院調整の難航が深刻化した。特に重症化リスクを有する高齢者においては、施設での集団感染を機に入院調整が必要となるケースが多く、早期退院が困難であることから、地域の医療体制維持のためには、高齢者福祉施設の感染対策が非常に重要であることが示唆された。

一方で、高齢者福祉施設においては、国内で初めて感染が確認されてから間もないという側面もあり、感染拡大を防止するための対応が不十分な施設が散見された。本活動は、高齢者福祉施設でのクラスター発生予防と初期対応について支援を行い、今後の新興感染症の発生や蔓延に備え、施設と地域医療機関・嘱託医の連携の促進を図るものである。

◇活動内容とその成果

第1 新型コロナウイルス感染症集団発生時の対応資料の作成・配布

- 1 目的 施設全体で標準予防策を意識した確実な感染対策を行い、職員全員が迅速に情報を共有・協力して感染拡大を防ぐ。
- 2 対象 管内高齢者施設（介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅等）
- 3 内容
(1) 対応マニュアルの作成

活動成果報告書

- (2) 発生報告書の作成
- (3) 経過表（ラインリスト）の作成

4 周知方法 茨城県ホームページにて対応マニュアル・各種様式を配布。

第2 高齢者福祉施設などにおける新型コロナウイルス感染症対策研修会の開催

1 目的 医療機関と高齢者施設の連携、施設内感染対策、早期治療に向けた体制作り

2 日時・場所

- (1) 令和4年5月17日・WEB会議 (2) 令和4年7月22日・WEB会議
- (3) 令和4年11月16日・WEB会議 (4) 令和4年11月25日・WEB会議

3 対象 管内高齢者施設（介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅等）、管内市町村担当者、保健師、茨城県長寿福祉課、茨城県感染症対策課、コロナ患者受け入れ医療機関

4 内容 管内の発生状況、クラスター発生予防と早期対応の重要性について、管内医療機関の医師、感染管理看護師より講話いただく。情報共有・情報交換会を実施。

5 成果 昨年度、新型コロナウイルス感染症で当所が介入した管内高齢者施設は417件、うちクラスター化(5名以上)した施設は191施設であった。第6波から第8波にかけての感染力の強いオミクロン株が主流となる状況で対応には苦戦を強いられたが、オンラインを活用し管内高齢者施設に広く感染対策の周知を行うことで、患者発生の早期探知・二次感染予防に貢献した。クラスター化した191施設に対しては、対応マニュアルや各種ツールを用いて、クラスター終息まで対応をやり遂げた。

第3 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の高齢者等福祉施設への医療提供体制に係るアンケート

1 目的 令和5年5月8日からの新型コロナウイルス感染症5類感染症移行に伴う、施設入所者に対する地域の受け入れ態勢構築の重要性の高まりから、施設内診療について課題を整理し、今後の施設内治療の充実に向けた検討を行う。

2 配布日時・方法

令和5年4月14日

管内医療機関・各医師会宛てメールにて送信し、FAX またはメールで回答を回収。

3 対象 医療機関に従事する医師

4 内容 嘱託医が施設内医療にかかわるためにはどのような条件が整うことが必要か、高齢者等施設内での医療提供体制構築に向けての意見・提案等（複数回答、自由記述式）

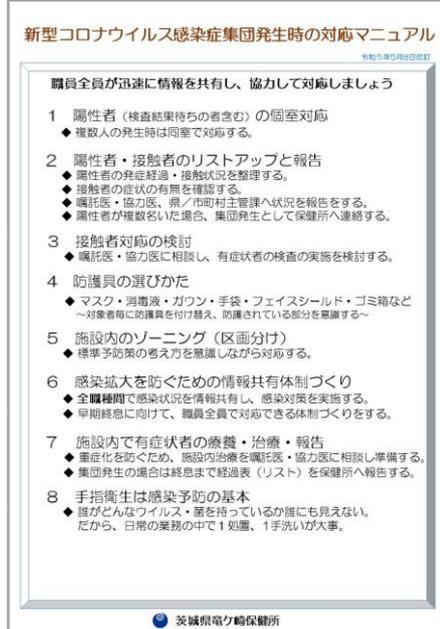


図1. 集団発生時の対応マニュアル

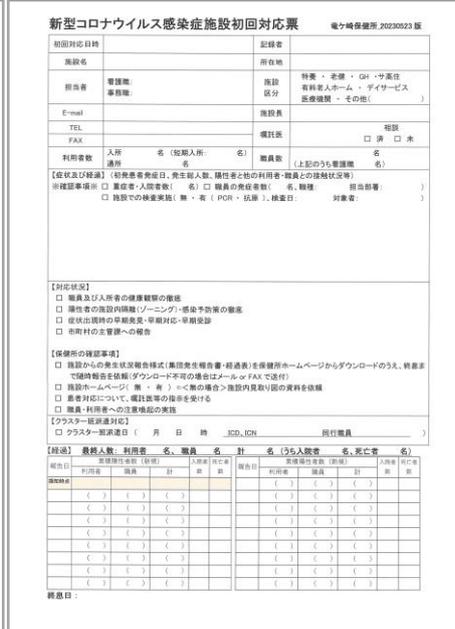


図2. 施設初対応票

活動成果報告書

第4 管内高齢者施設における感染症対応の実態調査及び研修会の実施

- 1 目的 COVID-19 や高齢者施設で発生しやすい感染症について現状の把握と感染予防対策の知識普及を行う。感染症対応の実態調査を行い施設職員の感染症対策への意識を高める。
- 2 日時・場所：令和5年10月17日・茨城県竜ヶ崎保健所（Webにて開催）
- 3 対象 管内高齢者施設等の管理者、看護師、介護士
- 4 対象施設数：53施設 参加者：92名
- 5 研修内容 (1) 高齢者施設における感染症対策について 感染管理認定看護師より講話
(2) 高齢者に多い疾患について、集団発生時の対応、報告基準等
(3) 結核患者発生時の対応と日頃からの対策について

6 アンケートの実施とその結果

実施時期 A：研修会事前 R5年9月17日からR5年10月12日

B：研修会事後 R5年10月17日からR5年10月31日

結果 事後アンケートの自由回答では、「今回の研修内容をマニュアル作成、BCPに生かしていきたい」「研修会で使用した資料を用いて施設内で伝達講習会を実施する」等の、現在の感染症対策を見直す回答が多くみられた。平時からマニュアルの改訂や、整備を行うこと、施設内の体制作りへの意識付けに寄与した。

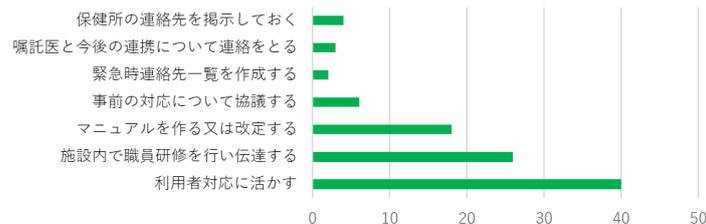


図3. 今回の研修で聞いたことをどのように生かしていけそうか(複数回答あり、n=99)

第5 管内全病院の院内感染対策担当者のネットワーク会議

- 1 目的 院内感染対策についての方針や疑問等を共有する機会を設け、管内の医療機関間の繋がりと地域全体の感染対策に関する機能を強化する。
- 2 日時・場所
(1) 令和5年4月26日・Web会議 (2) 令和5年6月16日・Web会議
(3) 令和6年3月6日・Web会議(予定)
- 3 対象 竜ヶ崎保健所管内病院、23か所の院内感染対策担当者や院長
- 4 内容とその結果
(1) 第1回：管内病院56名が参加。COVID-19の5類移行を見据え、各病院への院内感染対策に関する方針や決定事項などについて共有。
(2) 第2回：管内病院45名が参加。海外からの輸入症例を契機とした麻しん患者の発生を機に、麻しん発生に備えた平常時からの準備と発生時の対応について共有
(3) 第3回：管内の結核の発生状況や、院内での結核接触者健康診断の実施、感染加算連携会議での訓練の取り組み状況、ICNの地域での活動状況について情報交換予定。

◇今後の計画

コロナ禍での対応経験を活かし、多種多様な種別を対象とした感染症研修会を今後も開催していく。今後のパンデミックに備えて、管内院内感染対策担当者間の連携強化や地域に出向いた活動等を支援していくことで、地域全体の感染対策の機能強化に努めていく。